

## 寺田総務相更迭

## 岸田内閣3人目

## 「政治とカネ」相次ぐ

岸田文雄首相は20日、「政治とカネ」を巡る問題が相次ぐ寺田総務相を更迭する方針を固めた。政権関係者が明らかにした。寺田氏は辞任を否定していたが、首相は政治資金規正法の担当閣僚として不適当と判断した。複数の政府関係者によると、寺田氏は20日中に首相に辞表を提出する。今国会中の閣僚更迭は山際大志郎前経済再生担当相、葉梨康弘前法相に続き3人目となる。野党は首相の任命責任を厳しく追及する。



寺田氏を巡っては、関係表など辞任を求めている政治団体が故人を会計責任者とした政治資金収支報告書を提出していたと判明。寺田氏は陳謝したものの、その後も政治資金に関する問題が続々と判明した。

世界平和統一家庭連合(旧統一教会)問題で山際氏、死刑を巡る発言で葉梨氏が辞表を提出した。野党は寺田氏についても「政治資金を所管する閣僚として範にならない」(立憲民主党の泉健太代

議への影響を懸念し、辞任論が拡大した。

首相は19日、訪問先のタイでの記者会見で寺田氏の進退について「どうあるべきか、首相として判断したい」と述べた。

寺田氏は衆院広島5区選出で当選6回。岸田派(宏池会)に所属し、首相補佐官から8月の内閣改造で初入閣した。

衆院政治倫理・公選法改正特別委  
で答弁のため挙手する寺田総務相  
18日